

「教科・領域等の連携教育プログラム」

学校・学 教科・領	小学校			中学校	
	1・2年	3・4年	5・6年	1年	2・3年
国語科 【重点：音読と仮名・漢字の読み書きの技能の向上】	教科書の音読がなめらかにできて、ひらがな、カタカナを正しく書くことができる。	教科書の音読がなめらかにできて、前学年までの配当漢字を正しく書くことができる。	教科書の音読がなめらかにできて、前学年までの配当漢字を正しく書くことができる。	教科書の音読がなめらかにできて、漢字力は検定5級以上の読み書きができる。	教科書の音読がなめらかにできて、漢字力は検定3級程度の読み書きができる。
(生活科)・社会科 【重点：社会生活・現象や地理に関する知識・技能の向上】	身近な地域に出かけ、地域の人々とかかわりを持ち、様々な場所やものを調べたり、利用したりすることができる。(まちたんけん)	東京都の市区町村を知り、都道府県名を覚える。身の回りの地図や日本地図の見方を知る。	主な国名、地名、大陸名、海洋名を覚え、世界地図の見方を知る。	都道府県名、主な国名、地名などを覚えて定着できる。	覚えた国名、県名などをもとに、近現代史や公民の学習に関連付け、地域との比較や関連性、国際関係などを多面的多角的にとらえることができる。
算数科・数学科 【重点：計算技能の向上】	繰り上がり、繰り下がりのある加減計算と、乗法九九ができる。	2位数、3位数の乗除ができる。	整数・小数・分数の四則計算ができる。	正負の計算・文字式の計算・方程式を解くことができる。	式の展開・因数分解・平方根の計算・二次方程式を解くことができる。
(生活科)・理科 【重点：科学的思考力の向上】	より豊かな生活体験ができる。 ・いろいろな体験を通して多くのことに気づく。	・科学的事象に関する興味・関心を高める。 ・基本的な用語を習得する。 ・基本的な実験技能を身につける。	・科学的事象に関する興味・関心を高める。 ・対照実験など、実験の意味を考えられる。 ・自分の力で課題を見つけ、考えられるようにする。	・観察・実験で使用する器具・機器の基本的な操作方法等を身に付ける。 ・自ら課題を見出し、自ら課題解決を計画し、自ら観察・実験を行う中で、課題を解決しようとする意欲・態度を身に付ける。	・課題に対しては、仲間とチームを組んで、その解決にあたることができる。 ・観察・実験で得られたデータを分析し、既習事項や類例等と照らし合わせ、客観的に考察し、結論を得ることができる。
音楽科 【重点：表現能力の向上】	・伴奏を聴いて声を合わせながら区歌を歌う。 ・音楽に合ったリズムで体を動かす。 ・楽曲の気分を感じ取り、楽しさに気付く。	・互いの歌声を聴きながら、区歌を歌う。 ・曲想のふさわしい表現をし、音を合わせて表現する。 ・曲想と変化を感じ取り、良さに気付く。	・全体の響きを考えながら、区歌を歌う。 ・楽器の特徴を生かして音を合わせて表現する。 ・曲想と変化を感じ取り自分なりの言葉で表し良さに気付く。 ・楽譜に使われている音楽記号を知る。	・区歌を発声に気を付けて歌う。 ・リズムを生かして歌唱したり、リズム創作をする。 ・鑑賞して特徴あるリズムを聴き取り、そこから感じることを考える。 ・音楽記号を生かして表現したり鑑賞したりする。	・区歌を発声に気を付けて歌う。 ・言葉の抑揚にあったリズム創作をする。 ・自ら音楽記号を想定して歌唱する。 ・リズムや音楽記号から、作曲者の気持ちを読み取り、表現したり鑑賞したりする。
図画工作科・美術科 【重点：創造的な技能の向上】	・造形活動を楽しみ、豊かな発想をするなどして、からだ全体の感覚や技能を働かせる。 ・身の回りの作品などから、面白さや楽しさを感じ取る。 ・根気強く作品を作りあげることができる。	・材料などから豊かな発想をし、手や体全体を十分に働かせ、材料の使い方や表し方を工夫する。 ・身近にある作品などから、面白さや楽しさを感じとる。	・材料などの特徴をとらえ、想像力を働かせて発想し、今まで習得した技術を使い、かつ応用した様々な表し方を工夫する。 ・親しみのある作品などから、よさや美しさを感じ取るとともに、それらを大切に作る。	・根気強く最後まで作品制作をやり遂げる。 ・基礎的技法を理解し表現できる。 ・対象や事象を捉える造形的な視点について理解し、創意工夫し創造的に表現できる。	・表現や鑑賞の活動を通して充実感や達成感を味わう。生活の中で生かすことができる。 ・美術や美術文化などに対する見方や感じ方を深めることができる。
家庭科・技術家庭科 【重点：基礎的・基本的な技能の向上】			・衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、日常生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技能を身に付ける。 ・手縫いやミシンの操作方法、調理器具や調理方法などの基礎的・基本的な知識を身に付け使用できる。	・生活に必要な基本的な知識・技能を身に付けることができる。 ・調理器具、ミシン等の基本的な操作方法を理解し使用できる。	・生活に必要な基本的な知識・技能を身に付けることができる。 ・学習したことを踏まえて工夫しながら実生活で活かすことができる。
体育科・保健体育科 【重点：運動に親しむ資質・能力の向上】	・ボール遊び、マット遊び、水遊びなどを、楽しく決まりを守りながら行うことができる。	・からだづくり運動やゲームなどで規則を守って行うことができる。 ・友達を認め励ますことや、仲間と勝敗を受け入れることができる。	・場の準備や片づけを仲間と協力して進んで行うことができる。 ・自分たちでルールを工夫したり、各グループで作戦を考えたりして、規則を守ってゲームに取り組むことができる。	・中学校の保健体育の授業の進め方を理解し、様々な種類のルールや審判法、基本的なゲームの進め方を理解できる。	・学習したルールや審判法、基本的なゲームの進め方を踏まえて、更に技能向上や勝利をめざした練習方法や戦術を考え実践できる。
外国語活動・外国語科 【重点：外国の言語・文化理解、コミュニケーション能力の向上】		・外国語の音声やリズムなどに慣れ親しむ。 ・ゲーム方式により楽しむことで、言葉の面白さや豊かさに気付く。	・「Hi, friends!」や「Welcome to Tokyo」を活用して、さまざまな表現にふれる。 ・単語や会話表現の表記に興味をもち、読み書きに取り組む。 ・外国語のおもしろさに気付く活動を通じ、日本語との違いを知り、言葉の面白さや豊かさに気付く。	・自分のことについて3文以上の英文で書いたり、話したりすることができる。 ・まとまった英語文章を聞いたり読んだりして理解することができる。	・自分に関することや身の回りについて5文以上の英文で発表することができる。 ・まとまった英語文章を聞いたり読んだりして理解することができる。
道徳 【重点：自分自身や集団・社会との関わりに関する道徳的実践力の育成】	基本的な生活習慣を身に付け、友だちと仲良く生活することができる。	自ら考え、自律した生活を送ることができる。	誠実に、明るい心で楽しく生活をする。	思春期の特徴を踏まえ、書く活動や話し合う活動を重視し、自己の心情や判断等を表現する機会を多く取り入れ、人間としての生き方を多面的・多角的に考えることができる。	法やきまり、社会とのかかわりに目を向ける中で社会の一員である自覚を深め、道徳的価値に裏打ちされた人間としての生き方について、一層深く考えることができる。
(生活科)・総合的な学習の時間 【重点：課題設定・問題解決能力の向上】	・パソコンでジャストスマイルのプログラムを使い、マウスや印刷、保存などの機能が使える。 ・グループでの簡単な話し合い活動ができる。	・自分たちで課題を設定し、「これをやりたい!」「こうしたい!」「そのためにはどうすればよいか。」などと考えて話し合い、自ら計画して行動することができる。 ・ローマ字でタイピングができる。	・課題を設定し、目的を持って自主的に、本やパソコンを使って情報収集などの活動ができる。 ・パワーポイントなどを使ってプレゼンができる。	・様々な事柄について、文献やパソコンを使って調べ、分かりやすくレポートにまとめることができる。 ・福祉体験学習をとらえて、様々な立場の人がいることを知り、思いやりの心を培い、社会の一員としての資質を身に付ける。	・チャレンジ・ザ・ドリームの取組の中で、5日間の職場体験を行い、適切な勤労観・職業観を身に付ける。 ・自分の特性について考え、卒業後の進路をどのように歩みたいかを見出せるようにする。
特別活動 【重点：集団の一員としてのよりよい人間関係の形成及び自己を生かす能力の向上】	・仲良く助け合い係活動・当番活動を進んで行うことができる。	・協力し合って学級内の望ましい人間関係をつくることことができる。 ・クラブ活動を楽しむ。	・信頼し合って楽しく豊かな学級や学校生活をつくる。 ・クラブ活動、委員会活動、縦割り班活動に協力して取り組み、異学年間で望ましい人間関係をつくることことができる。	・新しい中学校生活をスタートするに際し、よりよい学級を築くための、仲間づくりに取り組む。 ・生徒会活動を理解する。 ・委員会活動に積極的に参加する。	・クラスの代表だけでなく、学校全体のリーダーとして活躍する資質を養う。 ・運動会・文化祭等の学校行事に対して、一層主体的・積極的に取り組むことのできる資質・能力を身に付ける。
読書科 【重点：学校図書館を活用し、探究的な学習活動を通じた情報活用能力の向上】	図書の扱い方や借り方を正しく覚え、様々な分野の本を楽しく読むことができる。	本が0類から9類までに分類されていることを学び、読書の幅を広げることができる。	自分の課題に合った本(資料)、新聞記事を探し、調べたり、考えたりすることができる。	「日本十進分類法」を理解し、図書館で目的に応じて必要な本を探し、調べ学習ができる。	POP作り、ビブリオバトルなどで、互いに本を紹介することによって、読書の幅を広げることができる。